



March 8
MARCHSBURG
TIMES
知事官本
三月八日
行日局所人
才一五五号

獨逸の長期抗戦 次女態

全歐を統べる包圍長陣

西報府多リス紙所報に據れば、獨逸は今春は守勢に入つたが、國防組織相當に強固であるとして大旨次の如く解説した。

- (一) 荷蘭尚ほ親獨態度で自海とバルチック海とを連接する獨逸の耳目である
- (二) 諾威より日肉獸三千五万頭を屠殺、獨逸に輸送せしめ、牛乳及び乾酪の四割を徵発して、一は西國民を敗北せしめ、他は自國內に食糧を運ぶ
- (三) バルチックの制海権
- (四) 大西洋沿岸の防備(ミリアリ一區をA、B及びCの三層となし、海岸線に沿つて深さ三哩をAとし、次の十哩をBとし、最後の三十哩をCとし、其防備の主なるは龍牙、地雷、鉄條網、地雷火及地下坑等であり、内地に及る程防備の密度が減じて行く、即ち或る区の如きは一時三ヶ月師團を並列せし所ありといふ)

(五) 獨逸はジブラルターを覗つてゐるが、西班牙と葡國との中立に依り躊躇せるも、南佛岸は最も強烈なる軍備施設あり、地中海を南にせる欧州南岸は、グアドナルス海峡まで一線を描き、その中に伊太利を含んでゐる

(六) 黒海沿岸はブルガリア、羅馬尼亞、ウクライナ、タリミア、半島のニコラエフスタ、港まで一帯に防備した

(七) 又右ニコラエフスタ港よりレニングラードまでの一線、所謂ドニール河防備線と、以て赤露に備へてゐる

日米國民交換船問題

万國赤十字社が擔前

倫敦經由の報道に據れば、日本政府は米國の提議を諒とし、万國赤十字社を介して、將來に於ける日米兩國國民の復我交換に就き交渉中であり、去月二十七日から折衝を始めた(詳報無きも、交換船出帆することは確實であり、將未交換回連続するものと観測さる)

獨逸の各國捕虜數

現在の獨逸内に收容されてゐる各國捕虜數として、万國赤十字社發表によれば、
赤露人 二萬五千人
佛國人 一萬三千人

ユーゴスラヴィヤ 九千人
波蘭人 七万五千
米國人 二千人
合計 三萬六千九百五十二人であるが、獨逸現在に在る領地も含めると、人口は三億五千万と見積られ、其大半は自給自足し得るといふ

紐育在留日本人

(ニウスウイークより)

パロールに於て佐藤太郎より其の動靜を報告せられたるによれば、同人は其のルールの静かに休んで木の玩具を刻んでゐる、働口を見出すことは出来ぬらしい、斯んな報告は毎週パロールになつた人々から官憲へ差出され、之に依り在留日本人の動靜を報告すれば、大要左の如くである

パロールハ、龍撃以前の在留日本人の數は凡そ千七百二人であつたが、捕殺と同時に市長ラガヤから日本人は街上へ出るな、バスにも電車にも乗るなと警告した日本人關係のフアームは閉鎖し、レストランドに居れば、五五五人は失職し、開戦後一週間に、正リス島へ収容された者三百名、その内二百名はインタンされ、内國傳道會の發起の下に、教會の人々によつて一夜三十仙泊りの寄宿所を設け、着せられた世話をした

インタンされた者には、他の日本人から衣服書籍等を奪め、之を教會員を通過して慰籍に努めた、パロールに在るには保証人を立てるか、教會委員の一人、アイクルハート博士は四十人の保證人になつてゐる、今でも日本人にして働口を得るとは困難である、僅かに少女タイピストの少數が在り、此ら位で高等教育を受けたい者も、普通通商働口を得れば、幸福としてゐる中、には支那料理をやつて、或る支那字で造り、ボツク客を引つゝあるものもある

米國海軍の將來

海軍部長ノックスの發表によれば、一九四五年末に至れば、米國海軍は開戦當時の艦隊の四倍となることである、今試みに一九三九年の状況が、軍艦と建造中のものを挙げ、

洋艦九一隻、驅逐艦三三隻、母艦一八隻、巡洋艦一八隻、計六九隻であるが、現有艦合計三四四隻であつたから、其四倍は一三七六隻となる

